

第 16 回 JRPS 網脈絡膜変性フォーラム 開催要項

網膜色素変性症に対する治療法の確立を目指して、いくつかの治療法が基礎研究から臨床応用へと発展しつつあります。その一つが遺伝子治療で、Leber 先天黒内障では一定の治療効果が得られています。今回は、遺伝子という観点から網膜色素変性症を捉え、その病態と治療を考えてみたいと思います。網膜色素変性症の遺伝子に関する研究で、第一線で活躍されている先生方に講演していただきます。

また、コロナ感染予防のためにオンラインでの開催といたします。全国から多数のご視聴をお待ちしております。

山本 修一 (JRPS 副理事長・地域医療機能推進機構理事)

【日時】 2022 年 3 月 27 日 (日) 午前 10 時～12 時

【講演】

1. 國吉 一樹 先生 (近畿大学)
「網膜変性疾患の表現型と遺伝」
2. 林 孝彰 先生 (東京慈恵会医科大葛飾医療センター)
「網膜変性疾患の遺伝子検査」
3. 藤波 芳 先生 (東京医療センター・感覚器センター)
「遺伝子治療の臨床応用」

【オーガナイザー】

近藤 峰生 (三重大学)

町田 繁樹 (獨協医科大学埼玉医療センター)

主催 公益社団法人 日本網膜色素変性症協会 (JRPS)

後援 厚生労働省、公益社団法人 日本眼科医会、日本ロービジョン学会、

公益社団法人 NEXT VISION

※本フォーラムの対象：眼科医・医療関係者、行政・福祉関係者、患者・家族

※本フォーラムは専門医認定事業です。

※専門医認定をご希望の方は、別途申し込みが必要です。

事務局（E-mail: info@jrps.org または、Tel. 03-5753-5156）までお問合せください。

※上記の方以外は、参加申込み不要です。

※参加費無料

視聴 YouTube リンク：<https://youtu.be/Q2K097hieDY>

（9時30分からアクセス可能）